

平成28年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	1	中央図書館・分館の来館利用
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> ○新規利用登録の呼びかけ、広報 ○公民館や他機関との連携による図書館のPR強化 ○図書館サービスの可能性や活用方法のPR ○蔵書構成の充実 ○書架案内等の工夫 ○資料の展示の工夫 	
平成28年度取組	<p>【中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民課での住民登録の際に総合利用案内を配布している。また、市内の大学新入生対象に大学生向利用案内を作成し、図書館利用を促した。 ・来館していない利用者に対して、ツイッターやホームページ、市のUモ二等を活用し、新たな形での広報にも取り組んだ。 ・書架の案内図を見やすいデザインに変更し、利用者自身が資料を探すための援助を行った。展示スペース及び特設コーナーでの資料の展示の充実に努めた。 <p>【分館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各館でカウンターでの対応時や類縁機関サービス時に、図書館のPRを行った。 ・利用の多い本を複数揃えるほか、専門性の高い本についても必要に応じて積極的に収集した。 ・資料の展示については、テーマ設定や展示方法を工夫し、貸出促進に努めた。 	
量的指標	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者数 (中央館) 460,000人 ・貸出利用者数 *分館は来館者数を計測していないことから、貸出利用者数を指標とします (分館) 343,500人 	
平成28年度結果	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者数 (中央館) 425,536人 【達成率】 92.5% ・貸出利用者数 (分館) 322,489人 【達成率】 93.9% 	<p>【平成27年度実績】</p> <p>(中央館) 434,832人</p> <p>(分館) 326,950人</p>
図書館自己評価	<p>【中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口増加に比例した新規利用登録の増加には至っていない。月曜開館が定着してきたことで、利用が平均化する傾向がある。 ・資料の展示についてはツイッターでの発信などが功を奏し、来館を促すことができた。 ・図書館資料の充実と今後の大規模改修・リニューアルへ向けた取り組みを図書館利用につなげていくことが必要である。 <p>【分館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月曜開館と平日の開館時間延長時の利用は定着してきたが、月曜の利用は他の平日より少なく1日平均は減少した。公民館の工事による臨時休館等で利用が減少した館が複数あり、単純な比較はできないものの、各館でのPRや展示による利用促進が利用増加に十分結びついていない状況がある。 ・高齢利用者の多い地域の館では、来館頻度が高く、1人あたりの貸出冊数が少ない傾向にあるが、身近な分館が日常的に利用されている。今後も高齢者の利用しやすさを意識したサービスや資料の充実が課題である。 	
図書館協議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に資料の貸出件数が減少しているが、人口移動などとも関連させてどのような要因によるのかの検証ができるかと思う。減少しているとは言えないものの、市民一人当たり12点を越える貸出点数は大きく評価できる数値と思う。 ・取り組みに新大学生への利用促進があるが、新大学生が期待利用者の対象になるか、疑問である。 ・開館日や時間の変更をしたことは、利用者の利便性に応えているのではないかと。 ・分館の改修工事で、以前より雰囲気や明るさを感じになり、ゆったりと気持ちのよい場所になった。 	

改善の方向性	<ul style="list-style-type: none">・貸出冊数については、図書館にとって基本的な指標ではあるが、貸出以外のサービスが拡充している中で、貸出だけでは資料提供の効果を測ることが難しくなっていると考えている。中央図書館の大規模改修により、「もっと使いたくなる図書館」、「もっと足を運びたくなる図書館」へとリニューアルを図り、来館者を増やす工夫に努める一方、より適切な指標を検討する。・来館を促すPRは重要であり、対象を考慮してより効果的な方法を検討していきたい。
--------	---

平成28年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	2	レファレンスサービス
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> ○レファレンス事例の公開 ○メールレファレンスのPRの強化 ○各種イベント用のパスファインダー(調べ方案内)作成 ○よく質問される「レファレンス基本」パスファインダーの作成 ○データベースの利用促進 	
平成28年度 取組	<ul style="list-style-type: none"> ・国立国会図書館のレファレンス協同データベースで公開可能なレファレンス事例を15件作成した。 ・パスファインダー(調べ方案内)については、他機関主催事業の「うらやす市民大学」で17件、「うらやすコミュニティカレッジ」(公民館事業)で8件、浦安商工会議所との共催事業「創業支援セミナー」で12件、各講座科目に対応したものを提供した。作成に当たっては、高齢の参加者に配慮した紙面レイアウトに改定した。 ・レファレンス業務でよく聞かれる質問に関しての「レファレンス基本」パスファインダーを3件作成した。 	
量的指標	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス件数 (調査回答) 1,450件 (メールレファレンスを含む) 	
平成28年度 結果	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス件数(中央館) (調査回答) 1,368件 【達成率】 94.3% 	<ul style="list-style-type: none"> 【平成27年度実績】 (調査回答) 1,374件
図書館 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス回答に対する利用者の満足度調査では、対応職員の主観的な評価ではあるが、「満足」(◎)が52.7%(617件)、「どちらかといえば満足」(○)が34.5%(404件)となり、サービスの質的評価については概ね良好な結果となった。 ・パスファインダーに関しては、各事業のさまざまなテーマに沿った内容で作成することができた。また、パスファインダーを活用する利用者がレファレンス室に入室しており、今後の利用やレファレンス事例集の作成につなげていくことが課題である。 	
図書館協議会 の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・調査回答1,368件という数は、日本の公共図書館としては非常に多い件数だと思う。主観的な評価とは言え、利用者の満足度が80%を超えていることは職員のレベルの高さを物語るものだと思う。レファレンスサービスの市民への周知をより一層はかり、この数値が上向いていくことを期待したい。 ・パスファインダーの作成は、利用者に対しレファレンスサービスを可視化していくと共に、職員のノウハウの蓄積にも結び付き、意義ある取り組みであると思う。 ・他機関との様々な連携協力を進めれば、更に多くの利用者が増していくと考える。 	
改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・パスファインダー(調べ方案内)の作成で連携している公民館、市民大学、浦安商工会議所のほか、明海大学図書館とは定期的な連絡会議を行い、資料の相互貸借も行っている。博物館との連携強化なども今後図っていきたいと考えている。 	

平成28年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	3	浦安震災アーカイブ事業	
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> ○『浦安震災アーカイブ』のPRの強化 ○「浦安市総合防災訓練」におけるデモ・展示参加 ○児童向けを含む防災関連企画の検討 ○アーカイブコンテンツの充実 		
平成28年度 取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「夏休み子ども防災教室 in 図書館」を開催した（参加者92名）。 ・「浦安市総合防災訓練」に参加して『浦安震災アーカイブ』のPRを図るとともに、市民の防災意識を高める啓蒙活動に取り組んだ。 ・アーカイブコンテンツを731点新規作成したほか、震災資料のスキャン作業や既存のメタデータ修正作業、合計510点に取り組んだ。 		
量的指標	<ul style="list-style-type: none"> ・『浦安震災アーカイブ』 ページビュー数 10,000件/月 		
平成28年度 結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ページビュー数 5,693回/月 【達成率】 56.9% 	【平成27年度実績】 9,452回/月	
図書館 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・指標としたページビュー数については、前年度実績をめやすとしたが、参考事例が少ないことから目標設定が難しいこともあり、低い達成率にとどまっている。市民の認知度をさらに高めていくため、パンフレット配布などPRの取組が必要である。 ・夏休み期間中の「子ども防災講座in図書館」は、前回（平成27年度）より参加者が増えており、今後も継続的に実施することが市民の防災意識を高めることに大きく寄与するものと考ええる。 ・のべ17の団体・個人より、自治会ニュース、民間会社の防災マニュアル、他自治体の防災計画、大学入試問題、報道番組などの用途でのべ60コンテンツの利用許諾申請があり、様々な団体・機関の防災用途で活用された。 ・コンテンツのさらなる充実により、『浦安震災アーカイブ』の利活用を促進していくことが課題である。 		
図書館協議会 の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・収録されている写真や体験談等のコンテンツはそれぞれ興味深く、今後も将来にわたって広く市民や社会に伝えていくべき第一級の資料である。分類等のメタデータが付与され、検索手段が整備されていることも評価できる。 ・過去の災害の写真だけではなく、どのような具体的な問題があり、どういう対処をしたのか、今後同じような事が起こる場合の自治体の対策や各個人に必要な準備など、もっとこれからの災害に対して役に立つ内容にしてほしい。 ・震災の記録を後世に伝えるという意味から、子どもを対象とした事業を企画したことは、優れた着眼点であると思う。 		
改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでは、収集した資料のアーカイブ化を優先して行ってきており、コンテンツの利活用を促すしくみについては、まだ十分ではない。コンテンツに付加する情報や活用方法の充実についても検討していきたい。 		

平成28年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	4	図書館ホームページ	
重点課題	<p>○27年度に実施した改善の効果を検証 ○コンテンツ内容の充実と適切な更新 ○利用可能な「電子資料」へのリンクなど、現有条件下での利便性の向上 ○他の媒体との効果的な棲み分けと連携</p>		
平成28年度 取組	<ul style="list-style-type: none"> ・速やかなイベント告知や、図書館だより等の更新を図り、コンテンツ内容の充実と適切な更新に努めた。 ・SNS（ツイッター）を活用した情報発信のあり方について検証を行い、運用方針、マニュアル、運用ポリシーを作成し、12月よりツイッターサービスを開始した （開始から3月までのツイート数：78） 		
量的指標	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館ホームページ ページビュー回数 1,500,000回 		
平成28年度 結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ページビュー回数、1,115,635回 【達成率】 74.4% 		<ul style="list-style-type: none"> 【平成27年度実績】 1,208,001回
図書館 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの補完的な位置付けとして、ツイッターサービスを開始し、行事のお知らせや展示、休館情報などを写真付きで紹介し、図書館利用者等への情報提供を行うことができた。今後もホームページとツイッターを効果的に運用して、幅広い情報提供を行っていきたい。 ・スマートフォンに対応したホームページ（蔵書検索ページは平成27年12月から対応済み）に改修してページビュー数の減少に対応していく必要がある。 		
図書館協議会 の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・見やすく利用しやすい。欲しい情報をキャッチできている点がよい。 ・パソコンによる利用だけでなく、スマートフォンでの利用、SNS発信など、情報利用の多様化に即した展開を考慮している点が評価できる。 ・ページビューは指標となり得るが、一応の目安で良い。 ・一般の方への事務連絡にならないように親しみのあるツイートを望む。 ・スマートフォン用の検索画面は使いやすいため、市の広報誌などで、積極的にPRしたほうが良い。 		
改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォン用の検索画面についてはホームページのトップにリンクがあるほか、お知らせに記事を載せているが、今後も積極的にPRを図っていききたいと考えている。 ・ページビュー回数以外の適正な成果指標について、今後検討する。 		

平成28年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	5	児童類縁機関サービス
重点課題	<p>○市内小・中学校、幼稚園、認定子ども園、保育園へ職員を派遣し、よみきかせ、ストーリーテリング（おはなし）、ブックトーク（本の紹介）などを行う。</p> <p>○保育園・幼稚園などからの来館利用、各施設への団体貸出等を促進する。</p>	
平成28年度 取組	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の全小・中学校、幼稚園、認定子ども園、保育園へ類縁機関サービスの案内を送付し、各施設からの希望を調整した。職員及び専門非常勤職員の派遣及び類縁機関からの来館利用により、1,219回 27,206人に対し事業を実施した。 ・副券利用は5園、図書館における園児の製作物の展示を4園実施した。 <p>*副券とは 幼稚園・保育園・学校で、図書館へ来館して利用体験をするための特別なカードで、通常の利用券とは別に発行するものです。</p>	
量的指標	<p>（各施設からの希望日時を調整した上で派遣可能な職員により実施しており、量的な指標はなじまないことから、記載していません）</p>	
平成28年度 結果		
図書館 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・類縁機関サービスの取組により、子どもたちに本の楽しさを伝え、図書館への来館のきっかけを作ることができたと考えている。 ・副券の利用が2園増加した。 ・類縁機関サービスを行う職員の研修の充実を図ることで、特に分館担当職員が地域の類縁機関との関係の強化が図れるようにしたい。 	
図書館協議会 の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・本校児童はストーリーテリングをととても楽しみにしている。継続拡大をお願いしたい事業である。 ・図書館で来館を待つだけでなく、類縁機関を通じたサービスを展開することによって、幅広い子どもたちに読書の楽しさを伝えることができていると思われる。 ・将来の図書館利用者、また賢く図書館を利用できる人になってもらうために地道ではあるが、続けてほしい活動だと思ふ。 	
改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの児童に対し実施してきた事業であり、サービス内容の質的な評価もいただいております。今後も継続していく方針です。実施回数については、当該年度の人員配置により派遣可能な範囲で調整していきたい。 	

平成28年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	6	児童関連集会事業	
重点課題	<p>○子どもの読書推進 ○子どもに関わる大人に、子どもにとっての読書の大切さを伝える集会事業の促進</p>		
平成28年度取組	<p>・通年で行う「えほんのじかん」「おはなし会」「ブックスタート」等の事業に加え、「絵本のよみきかせ講座」「科学で遊ぼう」「夏休み図書館クラブ」「子どもの本の講座」等を実施し、延べ9,046人の参加があった。</p>		
量的指標	<p>・児童関連集会事業参加者 延べ9,500人</p>		
平成28年度結果	<p>・児童関連集会事業参加者 延べ9,046人 【達成率】95%</p>	<p>【平成27年度実績】 延べ9,196人</p>	
図書館自己評価	<p>・平日開催の「えほんのじかん」の参加者の低年齢化と減少傾向がある。共働き家庭の増加も要因かと思われる。その一方で乳幼児を対象とした「赤ちゃんと楽しむわらべうたの会」の参加者は増加しており、本好きな子どもを育てたいという保護者の関心は強まっていると思われる。</p> <p>・「夏休み図書館クラブ」については、1冊の本について語り合うブックカフェと職業体験の2種類の内容に取り組んだ。どちらも好評で、新たに浦安図書館サポーターズ（図書館を応援する中高生の会）に3人が認定された。</p> <p>・「としょかんの冬のおたのしみ会」では浦安図書館サポーターズの運営への参加や、県立浦安高等学校の生徒によるペープサート出演などの連携を行い、小学校高学年から中学・高校生が図書館への関心を高める契機としている。</p>		
図書館協議会の意見	<p>・「図書館クラブ」については、小学校高学年～高校生までの図書館利用者拡大に繋がる効果的な取組と考える。図書館クラブ受講者が「冬のお楽しみ会」等の図書館行事にペープサートや絵本の読みきかせの実演をしていることは、彼らの図書館への関心度を高める良いきっかけとなっていると推察する。</p> <p>・多彩なプログラムを展開し、少子化傾向にも関わらず、多くの参加者を集めるという成果を達成している。</p> <p>・職員が多くかかわっている現状を、ボランティアの方や、他の機関（公民館等）との連携協力に広げて行けるとよい。</p> <p>・「科学で遊ぼう」は図書館利用の拡大につながると思う。科学離れも進んでいるので、大いに期待したい。</p>		
改善の方向性	<p>・市民や他機関との連携については、「科学で遊ぼう」など3事業で図書館友の会にご協力いただいております。「としょかんの冬のおたのしみ会」では、県立浦安高校の生徒に協力いただいております。連携範囲の拡大については今後も検討していきたい。</p>		

平成28年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	7	ハンディキャップサービス	
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> ○障がい者の図書館利用の環境整備 ○障がい者への情報提供の強化 		
平成28年度 取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンディキャップサービス協力者向け養成講習会を実施。合わせて、同協力者を活用した対面朗読を開始した。 ・音声・拡大読書器を10月から導入した。 ・障がい者の図書館利用の環境整備の一環として、障害者差別解消法の施行に対応した合理的配慮のあり方について、外部講師を招いた全職員対象の研修を実施した。 		
量的指標	<ul style="list-style-type: none"> ・宅配、障がい者用資料来館貸出、対面朗読等 各サービス実施回数合計 500回 		
平成28年度 結果	<ul style="list-style-type: none"> ・各サービス実施回数合計 388回 	【達成率】78%	【平成27年度実績】 415回
図書館 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンディキャップサービス協力者向け養成講習会を実施した結果、新規協力者を8名増やすことができた。 ・新規宅配、障がい者用資料来館貸出登録者が8名増加した。 ・音声・拡大読書器を10月から導入したことにより、障がいのある方の利便性を向上することができた。 ・サービスを必要とする人への広報の強化が課題である。 		
図書館協議会 の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館にとって大変に大事なサービスの一つと思う。今後ともぜひ、継続していただきたい。 ・障害者差別解消法の施行に備えた準備が図られ、全職員を対象に研修が企画されていることから、十分な態勢が整うことが期待できる。 ・利用者の声やアンケート結果が蓄積されてデータとして分析した内容が示せば良い。 		
改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・宅配サービスは、個々の利用者に対し担当職員を決めており、資料を届けたり頻繁に連絡するなど、ご要望を伺う機会が多いことから、ハンディキャップサービスに限定したアンケートは行ってこなかった。今後、必要性について検討する。 		

平成28年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	8	一般向け集会事業
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> ○集会事業の内容の充実 ○市民が参加しやすい開催日時設定 ○資料収集・資料提供と連携した事業運営 	
平成28年度 取組	<p>【奉仕第2係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館利用講座を16回開催して、市民の情報リテラシー向上に取り組み、45名の参加があった。 ・創業支援セミナーの共催に取り組んだ（計11回、のべ参加者392名）。 <p>【蔵書構成検討委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名作映画鑑賞会を毎月2回開催し1,369人の参加があった。また、図書館講演会と図書館カルチャーを開催した。 	
量的指標	<ul style="list-style-type: none"> ・一般向け集会事業参加者数 延べ1,800人 	
平成28年度 結果	<ul style="list-style-type: none"> ・一般向け集会事業参加者数 延べ2,212人 【達成率】122.9% 	<p>【平成27年度実績】 1,718人</p>
図書館 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館利用講座については、テキストを改訂して内容の充実に努めた。8月は子どもと保護者向けの蔵書検索コースを開催し、親子での講座参加を促した。 ・名作映画鑑賞会は「死刑台のエレベーター」で80人の参加があるなど、プログラムに人気のある名作を選択したことにより、前年度より331人の参加者増加となった。 	
図書館協議会 の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・大変意義のある活動で、図書館の意欲やセンスが直接あらわれることに特徴があると思う。 ・事業内容はとても興味深いものがあり、参加したいと思うものが沢山あった。 ・集会事業や講座に参加した市民が世話人やボランティア、子ども達の講師に育つような取組にしていければ素晴らしいと思う。 ・非常に活発な集会事業を実施されているが、職員の負担等を考えると集会事業が多すぎるのではないかと。公共図書館の集会事業は、図書館への来館や資料提供に結びつくことを常に意識して行うことが非常に重要である。 	
改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵書構成検討委員会が集会事業を担当する意義として、単なる講演会ではなく、テーマの選定、講師の著作やテーマに関する資料目録の作成、資料展示といった形で常に資料提供との結びつきを重視している。 ・集会事業の多さについては、大規模改修後のリニューアルを見据え、事業全体の見直しを図っていきたい。 	

平成28年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	9	資料展示
重点課題	○資料展示のテーマ・内容の充実 ○資料収集と連動した展示	
平成28年度 取組	・蔵書構成検討委員会により、書庫棟展示7テーマ、一般開架室の展示12テーマ、時事的でタイムリーなミニ展示25テーマ取り組んだ（下記中央図書館展示一覧）。 ・市民が通常の棚では出会えない図書を発見してもらうため、書庫棟展示では、テーマ・レイアウトの検討、図書の選定、紹介文執筆、展示図書目録の作成、といった一連の専門的作業を各担当分野で行い、展示を実施した。	
量的指標	（量的な指標はなじまないことから、記載していません）	
図書館 自己評価	・各種展示による資料紹介により、読書普及と図書館利用の向上を図ることができた。	

中央図書館展示一覧

期 間	書 庫		一 般	
	担当分野	テーマ	担当分野	テーマ
4月	社会科学	「法学 日本十進分類法 にみる図書館コレクション Part2」	自然科学	気分一新！さあ始めましょ う
5月			児童	子どもに絵本を
6月	人文科学	ゴッホを探せ！！ ～図書館美術館	社会科学	みんな大好き 鉄道大集合
7月			人文科学	自分のルーツを辿る
8月	非核平和展示	争いのない世界へ ～非核平和～	語学文学	この警察小説がすごいら しい
9月	語学文学	学園★天国	児童	ピーターラビットの世界
10月			人文科学	市制施行35周年記念 図書館カルチャー 「若冲と北斎 ～江戸時代絵画の魅力」
11月	奉仕第2係	創業支援セミナー関連	自然科学	パソコン×ビジネス
12月	自然科学	レトロとブームとリバイ バル	社会科学	あなたは犬派？猫派？
1月			語学文学	京都で事件が起こりすぎ ているそうです
2月	児童	だれもが自分らしく生きる ～子どもの本で考える バリアフリー～	自然科学	この冬、北欧に親しむ
3月			児童	子どもの本で学ぼう

図書館協議会 の意見	・中央館、分館共に、多彩な内容で展示が実施されている。テーマの設定やビジュアル面にも斬新なものが見受けられ、工夫が感じられる。 ・分館において、公民館との複合施設であることを生かし、公民館行事と連動した展示が実施されている。 ・書庫棟展示に比して、直近の時事に 대응するスポット展示がやや弱いので、時事情報に対応する展示を増やしてほしい。 ・ミニ展示は、「こんな本もあったんだ」と気づかされることが多く、更なるタイムリーな企画が期待される。
---------------	---

改善の方向性	<ul style="list-style-type: none">・展示期間が2～3か月の書庫展示、1か月の一般開架室の展示のほか、タイムリーなミニ展示は亡くなった方や時事的な話題などを随時取り上げ、レファレンス室前の大型美術本の棚の上などで展示している。直近の時事に対応した展示を継続的に行うことは今後の課題である。・書庫展示における目録作成は、単に図書リストを作るということではなく、そのテーマで図書館に本来収集すべきもので漏れているものがないか、というチェックも含めて行っている。
--------	---